

標準塗装仕様書

塗布部位：建物の窓ガラス（室内側・室外側）  
 ※一部ガラスには不適用な場合があります。（熱線反射ガラス・撥水ガラス等・・・要確認）

使用材料：(株)スケッチ製品  
 ガラス油膜取り剤 ..... [荷姿] 1ℓポリ容器  
 密着プライマー ..... [荷姿] 1ℓポリ容器  
 節電PRO（主剤：硬化剤＝9：1） ..... [荷姿] 主剤：1kg缶に900g  
 （いずれも無希釈で使用） ..... 硬化剤：0.1ℓ瓶に100g

通常保管は冷暗所（室温：5～20℃）

工程：以下の通り（詳細は施工マニュアルをご覧ください。）

工程	使用製品名	塗布量	塗付方法	作業説明ほか
① 素地調整	ガラス油膜取り剤	～10g/m <sup>2</sup>	手掛け	水・液剤がかからないように養生をする。 専用パット・バフに油膜取り剤を付け、窓ガラスに付着している汚れ（特に油膜・シリコン）を除去する。除去後、スクイージーである程度落とし、残った所や水気はしっかりと拭取る。
② 養生	ビニールマスキングテープ			コート剤のガラス面以外への付着を防ぐため、市販のビニールマスキングテープで窓枠部分を養生する。 ※マスキングテープ推奨3M車両用（黄色）
③ 下地剤塗布	密着プライマー	～10g/m <sup>2</sup>	手掛け	密着プライマーをウェス（不織布）でガラス面全体に満遍なく塗布する。
④ コート剤の塗布と換気	節電PRO（主剤） // （硬化剤）	塗布量 25g/m <sup>2</sup> 中毛ローラー 保水 30g/本	専用 中毛ローラー	コート剤をハカリ・調合カップで9：1の割合で調合し、使用する量を準備する。 専用中毛ローラーに保水させる規定量をトレイに入れ、専用中毛ローラーに均一に保水させる。 ガラス面への規定塗布量を専用中毛ローラーに含ませ窓ガラスに塗付する。
⑤ 乾燥・換気			自然乾燥	コート剤塗付30分以上経過後、指触乾燥を確認し、養生を取り外す。 窓を開け換気する。

- ※本書の「工程」は、室温10～30℃、湿度60%以下での塗布作業を基準にしています。
- ※コート剤等の取扱いは、別紙「安全データシート（MSDS）」をご覧ください。
- ※コート剤等の材料は、現場での塗布修正・補修等に備えて余分に準備して下さい。
- ※コート膜乾燥後の剥離の場合は、専用剥離剤をマニュアルに沿ってご使用下さい。
- ※コート剤の塗布：節電ガラスコートPROは、専用中毛ローラー保水30g、塗布量25g/m<sup>2</sup>となります。

＜塗布後の注意・メンテナンスについて＞

- ①塗布後1日は窓ガラスに触れないで下さい。
- ②塗布後1週間はカーテン・ブラインドの開閉等にご注意下さい。
- ③塗布後1ヶ月は窓ガラスの清掃をしないで下さい。  
（指触乾燥後はまだ傷が入りやすいので、特にご注意ください。）
- ④傷つきやすいものでこすらないで下さい。
- ⑤粘着テープやステッカー・ポスター等は貼り付けしないで下さい。
- ⑥塗布後の窓ガラスの清掃は、水または薄めた中性洗剤で柔らかい布で拭いて下さい。